

小笠原世界自然遺産

自然環境保全・自然再生・希少動植物対策

■概要

小笠原諸島の世界自然遺産登録に向け環境省、東京都の実施した自然再生事業において、当社は様々な局面に関わっています。

●絶滅危惧種増殖

弟島に生息するオガサワラアオイトトンボ、オガサワライトトンボ、オガサワラトンボなど希少トンボ類の安定した繁殖環境を確保するため、人工的な池を設計し、設置しました。

●外来生物対策

母島に生息するオガサワラシジミの繁殖地を、外来生物グリーンアノールから保護するため、侵入防止柵を設計しました。

兄島に生育するウラシロコムラサキ、アサヒエビネなど希少植物を、野生化したノヤギの食害から保護し、また、効率的に駆除するためのノヤギ排除柵、分断柵、捕獲柵を計画・設計しました。

また、母島南崎で繁殖する海鳥類をネコの食害から保護するためのネコ防除柵、父島東平で繁殖するアカガシラカラスバトをネコの食害から保護し、併せて希少植物をノヤギの食害から保護するネコ・ノヤギ防除柵を設計しました。



弟島 トンボ増殖池



兄島 ノヤギ分断柵



母島 グリーンアノール防除柵

施設名	対象	場所	発注者
ノヤギ防除柵・分断柵・捕獲柵	ノヤギ	兄島	東京都小笠原支庁
グリーンアノール防除柵	グリーンアノール	母島	(財)自然環境研究センター
グリーンアノール・ネコ防除柵	グリーンアノール・ネコ	母島	(財)自然環境研究センター
トンボ増殖池	トンボ類固有希少種	弟島	(財)自然環境研究センター
ネコ・ノヤギ防除柵	ネコ・ノヤギ	父島	環境省関東環境事務所
靴底洗浄施設	ブラナリア類	父島	東京都小笠原支庁